

問1 12世紀半ばの京都では、天皇や貴族の跡継ぎ問題をめぐって保元の乱が起こりました。この戦いをきっかけに、貴族の争いを解決する武士の力が認められるようになりましたが、この乱において天皇側について勝利し、のちに武士として初めて太政大臣の地位に就いた人物は誰ですか。

(2026年 滋賀県公立入試 類似)

1. 源頼朝 2. 足利尊氏 3. 北条時政 4. 平清盛

問2 徳川家康が江戸幕府の成立初期に、朱印状を発行して貿易を統制・奨励した目的として、最も適切な説明はどれか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)

1. 特定の有力な商人や大名にのみ海外渡航を許可することで、貿易の利益を幕府の統制下に置くため。 2. イギリスやオランダといった特定の国との貿易を拒否し、鎖国を速やかに完成させるため。 3. 対馬藩を通じて行われていた朝鮮との国交を完全に停止し、幕府が直接貿易を管理するため。 4. キリシタン大名によるローマへの使節派遣を幕府が公的に支援するため。

問3 現代の情報化社会において、スマートフォンの電子アプリなどを通じたサービスが普及する一方で、高齢者などの情報通信技術の利用が困難な環境にある人々が、その恩恵を十分に受けられないという世代間の不平等が生じることがあります。このような、情報の利用能力や環境の違いによって生じる格差を何と呼びますか。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)

1. 知的財産権 2. 情報格差 (デジタル・デバイド) 3. ユニバーサルデザイン 4. 情報リテラシー

問4 幕末の江戸幕府は、金貨の大量流出を防ぐために、貨幣に含まれる金の量を大幅に減らした「万延小判」などの発行 (貨幣改鑄) を行いました。この政策が当時の国内経済に与えた影響として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)

1. 金貨の質を下げたことで外国との交換比率が安定し、輸出が抑制された結果、国内の品不足が解消されて物価が安定した。 2. 貨幣の質を落としたことで市場の信用が失われ、通貨の流通量が激減したため、激しい物価の下落 (デフレ) が起こった。 3. 幕府が流通する貨幣の総量を厳格に管理したため、貿易による混乱は収まり、幕府の財政状況は劇的に改善した。 4. 貨幣に含まれる金の含有量が減ったことで、貨幣自体の価値が下がり、国内の物価が急激に上昇した。

問5 日本の二国間援助においては、相手国の経済発展の段階や社会状況に応じて、支援の内容を柔軟に使い分けています。例えば、1人あたりGDPが低く、医療や教育などの基礎的なインフラ整備が必要なカンボジアのような国には、返済義務のない「無償資金協力」の比率を高めます。一方、経済成長が進んでいるタイのような国に対しては、大規模な開発のために低金利で資金を貸し付ける「有償資金協力」を主軸にする傾向があります。このように、国ごとに支援の比率を調整する主な理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 滋賀県公立入試 類似)

1. 支援にかかる費用を最小限に抑え、日本が提供する資金協力の総額を早期に回収するため。 2. 相手国の債務負担や発展状況を考慮し、それぞれの国のニーズに合わせた効果的な支援を行うため。 3. 全ての発展途上国に対して、常に一律の割合で資金援助と技術援助を提供し、公平性を保つため。 4. 日本の民間企業が海外で活動する際、相手国の法整備を日本と全く同じにするよう義務付けるため。

問6 承久の乱の結果、幕府の支配力が全国的に強まった状況を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)

1. 京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視し、西日本の没収領などに東国の御家人を地頭として大量に任命した。 2. 侍所・政所・問注所の三つの機関をすべて京都へ移転させ、朝廷から政権を完全に奪い取って直接統治を開始した。 3. 九州に鎮西探題を置いて元軍の侵攻に備え、現地の武士に対して幕府が直接指令を出せるようにした。 4. 全国の国ごとに守護を置き、国内の荘園領主から年貢を取り立てる権利をすべて幕府が代行する仕組みを作った。

問7 自国の通貨と外国通貨を交換するときの比率を何といいますか。現代の日本経済において、外国為替市場での需要と供給によって変動する仕組みの名称として正しいものを選びなさい。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)

1. 為替相場 2. 物価指数 3. 金本位制 4. 利潤率

問8 インターネットでの商品の誤注文や、流行に流された衝動買い、クレジットカードの過度な利用による支払い困難など、消費活動におけるトラブルが発生することがあります。このような事態を避けるために消費者に求められる姿勢として、契約の仕組みを踏まえた最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 滋賀県公立入試 類似)

1. 契約は一度結ぶとどのような理由があっても一切取り消すことができないため、個人の責任は問われない。 2. 契約は自由に行えるが、その結果生じる代金の支払いや商品の管理は自らの責任で行う必要がある。 3. 消費者は常に守られる存在であるため、どのような注文ミスしても企業側がすべての責任を負うべきである。 4. クレジットカードを利用する際は、支払能力に関わらず欲しいものを自由に購入することが権利として認められている。

問9 江戸時代の貨幣制度において、慶長小判などの金貨の価値を決定づけていた基準として、最も重要な要素は何ですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)

1. 長崎での貿易によって決定される海外通貨との為替相場 2. 幕府が全国に配布した紙幣との交換比率 3. 貨幣そのものに含まれる金や銀などの貴金属の含有量 4. 日本銀行のような中央銀行が保証した金保有量

問10 ブラジルの輸出構造は、1960年代にはコーヒー豆が輸出額の約半分を占めていたのに対し、近年では大豆や鉄鉱石、機械類など多角化が進んでいます。このように、かつてのブラジルで見られた、特定の農産物や鉱産資源の生産と輸出に経済の大部分を依存する仕組みを何と呼びますか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)

1. 輸入代替工業 2. モノカルチャー経済 3. プランテーション農業 4. フェアトレード

問11 ある都市の地形図において、松江城の南東方向に、市役所の横を通って交差点を曲がった先に位置する建物があります。この建物の場所には、地域の歴史や文化を展示する施設であることを示す地図記号が記されています。この記号が表している施設として正しいものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)

1. 博物館・美術館 2. 図書館 3. 消防署 4. 寺院

問12 16世紀半ばに種子島へ漂着した船に乗っていた人々によって、日本に鉄砲が伝えられました。この鉄砲を伝えた人々の国名と、その後、高度な金属加工技術を活かして鉄砲の大量生産を行い、商工業の発展とともに繁栄した都市の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)

1. イギリスと博多 2. オランダと長崎 3. スペインと堺 4. ポルトガルと堺

答え合わせ・解説

問1	答え 4 平清盛	保元の乱や平治の乱を経て政治の実権を握った平清盛は、1167年に武士として初めて朝廷の最高職である太政大臣に就任しました。彼は日宋貿易を推進し、大輪田泊の整備を行うなど経済基盤を固めましたが、一族で官位を独占したため、のちに他の武士や貴族の反感を買うこととなりました。
問2	答え 1 特定の有力な商人や大名にのみ海外渡航を許可することで、貿易の利益を幕府の統制下に置くため。	家康は武家諸法度を制定して大名を統制する一方で、経済的な実力を持つことも重要視しました。朱印状を発行する制度は、海外との取引を幕府の許可制にすることを意味します。これにより、幕府は海外渡航の主体を限定し、莫大な利益を生む貿易をコントロールすることで、幕藩体制の基礎を財政面からも支えようとした。
問3	答え 2 情報格差（デジタル・デバイド）	情報通信技術（ICT）の普及に伴い、パソコンやスマートフォンを使いこなせる人とそうでない人の間で、経済的・社会的な格差が生じることを指します。特に高齢者層においては、電子アプリなどの便利なサービスを利用するための環境が整っていなかったり、操作の習得が困難であったりする場合があります。社会全体でこの格差をどう解消していくかが公民分野における重要な課題となっています。
問4	答え 4 貨幣に含まれる金の含有量が減ったことで、貨幣自体の価値が下がり、国内の物価が急激に上昇した。	金貨の流出を食い止めるため、幕府は1枚あたりの金の含有量を大幅に減らした質の悪い貨幣を発行し、その価値を従来の貨幣と同等とみなそうとしました。しかし、実質的な貨幣の価値が下がったことで、それまでの貨幣と同じ量の商品を買うためにはより多くの貨幣が必要になり、国内では激しい物価の上昇（インフレーション）が引き起こされました。これにより、民衆の生活は圧迫され、社会不安が広がる要因となりました。
問5	答え 2 相手国の債務負担や発展状況を考慮し、それぞれの国のニーズに合わせた効果的な支援を行うため。	日本の政府開発援助（ODA）は、相手国の経済的な自立を支援することを目的としています。経済発展が初期段階にある国には返済負担のない無償の支援を重視し、ある程度経済が発展した国には多額の資金を供給できる貸し付け（円借款など）を組み合わせます。このように、各国の1人あたりGDPや社会状況といった背景に応じた「多様な支援」を行うことで、より効果的な国際貢献を目指しています。
問6	答え 1 京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視し、西日本の没収領などに東国の御家人を地頭として大量に任命した。	承久の乱の後、幕府は上皇側に味方した貴族や武士の所領を没収しました。そこに東国の御家人を「新補地頭」として送り込むことで、実質的な支配権を西日本まで拡大しました。これら西日本の所領や御家人を管理し、同時に京都の朝廷に圧力をかける役割を担ったのが六波羅探題です。これにより、鎌倉幕府の支配権は全国規模へと発展しました。
問7	答え 1 為替相場	自国と他国の通貨の交換比率を為替相場（または為替レート）と呼びます。現代の多くの国では、市場における通貨の需要（買いたい量）と供給（売りたい量）のバランスによってこの比率が決定される変動為替相場制が採用されています。
問8	答え 2 契約は自由に行えるが、その結果生じる代金の支払いや商品の管理は自らの責任で行う必要がある。	消費者が商品を注文する行為は「契約」の成立を意味します。現代の経済では消費者の選択の自由が尊重されていますが、それと同時に、自分の意思決定がもたらす結果（代金の支払い義務など）を自ら引き受ける「自己責任」の考え方が重要となります。クーリング・オフ制度などの例外を除き、基本的には成立した契約には責任が伴います。
問9	答え 3 貨幣そのものに含まれる金や銀などの貴金属の含有量	江戸時代には現代のような管理通貨制度は存在せず、貨幣の素材である「金の量」などがそのまま価値の基準となっていました。これを「実物貨幣」的な性質と呼びます。例えば、慶長小判（金の割合約84%）と元禄小判（金の割合約50%）を比較した場合、元禄小判は含まれる金の量が少ないため、慶長小判よりも価値の低い貨幣として扱われ、経済的な混乱の原因となりました。
問10	答え 2 モノカルチャー経済	特定の農産物や資源の輸出に頼る経済体制は、国際価格の暴落や天候不順による不作が国の経済全体に壊滅的な打撃を与えるリスクを孕んでいます。ブラジルはこの脆弱な経済構造から脱却するため、アマゾン川流域やカンポ・セラードと呼ばれる地域での大規模な農業開発を行い、大豆の生産を拡大させたほか、カラジャス鉄鉱山などの開発によって鉄鉱石の輸出を増やすなど、資源・食料供給地としての地位を確立しました。
問11	答え 1 博物館・美術館	地形図において、博物館や美術館は建物の中に三角形の屋根のような線が入った記号で示されます。松江城下のような歴史的な景観が残る地域では、史跡の周辺にこれら文化施設が配置されることが多く、読図の際の重要な目印となります。寺院は「卍」、図書館は本を開いたような形の記号であり、それぞれ形状が異なります。
問12	答え 4 ポルトガルと堺	1543年に種子島へ漂着したポルトガル人によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。この新兵器は、自治都市として栄えていた和泉国の堺や紀伊国の根来などの職人によって国産化が進められ、大量生産されるようになりました。これにより、戦国時代の戦い方は騎馬戦から足軽による集団戦へと大きく変化しました。